

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2024年5月21日	
大阪府知事 殿	
提出者 住 所 〒590-0526 大阪府泉南市男里5丁目20-1 バンドー化学株式会社 南海工場 氏 名 工場長 青砥 正秀 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 072-482-7711	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	バンドー化学株式会社 南海工場
事業場の所在地	大阪府泉南市男里5丁目20-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	233：ゴム製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額：32,523.9百万円
③従業員数	625人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

別紙のとおり															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】														
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 （フロー図A、B）	②廃プラスチック類（ゴム屑・フ粉） （フロー図A、D）	③廃プラスチック類（ゴム屑） （フロー図A）	⑤廃プラスチック類合成樹脂屑 （フロー図B、D）	⑥廃プラスチック類合成樹脂屑（PE） （フロー図B）	④廃酸 （フロー図A）	⑦一般廃油 （フロー図D、E）	⑧木くず （フロー図E）	⑨蛍光灯 （フロー図E）	⑩ガラスくず （フロー図E）	⑪がれき類 コンクリート破片 （フロー図E）	⑫乾電池 （フロー図E）	⑬廃油（廃液油泥） （フロー図E）	⑭廃アルカリ（無機汚泥水） （フロー図C）
	排 出 量	16.15 t	1647.896 t	110.98 t	159.17 t	8.32 t	1.835 t	117.008 t	47.85 t	0.28 t	8.36 t	0 t	0.11 t	35.6 t	13.31 t
	（これまでに実施した取組） 製造部による継続的な不良低減への取組み（廃プラスチック類、合成ゴムくず削減） 新ラインや新製法の導入による不良低減への取組み（廃プラスチック類、合成ゴムくず削減） 照明機器LED化に伴う蛍光灯廃棄物削減への取組み 廃プラスチック類、合成樹脂材廃棄物分別による有償売却先の検討およびその実施														
②計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 （フロー図A、B）	②廃プラスチック類（ゴム屑・フ粉） （フロー図A、D）	③廃プラスチック類（ゴム屑） （フロー図A）	⑤廃プラスチック類合成樹脂屑 （フロー図B、D）	⑥廃プラスチック類合成樹脂屑（PE） （フロー図B）	④廃酸 （フロー図A）	⑦一般廃油 （フロー図D、E）	⑧木くず （フロー図E）	⑨蛍光灯 （フロー図E）	⑩ガラスくず （フロー図E）	⑪がれき類 コンクリート破片 （フロー図E）	⑫乾電池 （フロー図E）	⑬廃油（廃液油泥） （フロー図E）	⑭廃アルカリ（無機汚泥水） （フロー図C）
	排 出 量	15.9885 t	1631.41704 t	109.8702 t	157.5783 t	8.2368 t	1.81665 t	115.83792 t	47.3715 t	0.2772 t	8.2764 t	0 t	0.1089 t	35.244 t	13.18 t
	（今後実施する予定の取組） 製造部による継続的な不良ロス削減課題の推進 新ラインおよび新製法導入による製品不良ロス課題の推進 廃プラスチック類、合成樹脂材廃棄物分別による廃棄物削減および有価物化の推進														

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 有機性汚泥粉末・廃プラスチック類（合成ゴムくず）・廃酸・廃プラスチック類（合成樹脂くず）・一般廃油・木くず・蛍光灯・ガラスくず・がれき類・コンクリート破片・汚泥・発煙筒・乾電池をそれぞれに分別し保管している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 (第3面)

(第3面)

①現状	【前年度（2023年度）実績】														
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (ゴム屑・ペ粉) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (ゴム屑) (フロー図A)	⑤廃プラスチック類合 成樹脂層 (フロー図B、D)	⑥廃プラスチック類合 成樹脂層（PE） (フロー図B)	④廃酸 (フロー図A)	⑦一般廃油 (フロー図D、E)	⑧木くず (フロー図E)	⑨蛍光灯 (フロー図E)	⑩ガラスくず (フロー図E)	⑪がれき類 コンクリート破片 (フロー図E)	⑫乾電池 (フロー図E)	⑬廃油（廃液压油） (フロー図E)	⑭廃アルカリ (無機汚泥水) (フロー図C)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	
	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の再生利用なし														
②計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (ゴム屑・ペ粉) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (ゴム屑) (フロー図A)	⑤廃プラスチック類 合成樹脂層 (フロー図B、D)	⑥廃プラスチック類 合成樹脂層（PE） (フロー図B)	④廃酸 (フロー図A)	⑦一般廃油 (フロー図D、E)	⑧木くず (フロー図E)	⑨蛍光灯 (フロー図E)	⑩ガラスくず (フロー図E)	⑪がれき類 コンクリート破片 (フロー図E)	⑫乾電池 (フロー図E)	⑬廃油（廃液压油） (フロー図E)	⑭廃アルカリ (無機汚泥水) (フロー図C)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	
	(今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の再生利用、計画なし														

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

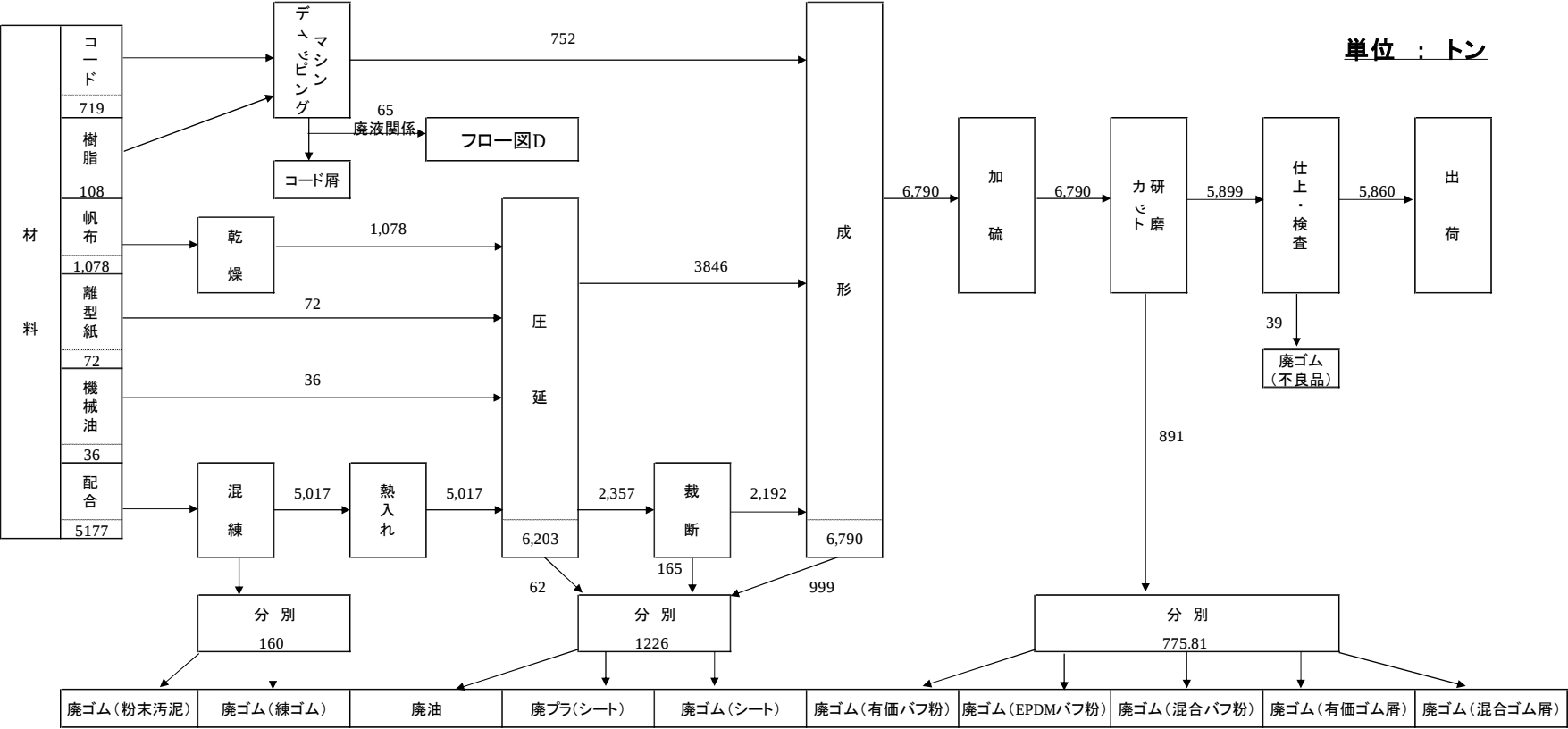
①現状	【前年度（2023年度）実績】														
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (ゴム屑・ペーパー粉) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (ゴム屑) (フロー図A)	④廃プラスチック類 (成樹脂層) (フロー図B、D)	⑤廃プラスチック類 (成樹脂層 (PE)) (フロー図B)	⑥廃酸 (フロー図A)	⑦一般廃油 (フロー図D、E)	⑧木くず (フロー図E)	⑨蛍光灯 (フロー図E)	⑩ガラスくず (フロー図E)	⑪がれき類 コンクリート破片 (フロー図E)	⑫乾電池 (フロー図E)	⑬廃油（廃液压油） (フロー図E)	⑭廃アルカリ (無機汚泥水) (フロー図C)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	
	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の中間処理なし														
②計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (ゴム屑・ペーパー粉) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (ゴム屑) (フロー図A)	④廃プラスチック類 合成樹脂層 (フロー図B、D)	⑤廃プラスチック類 合成樹脂層 (PE) (フロー図B)	⑥廃酸 (フロー図A)	⑦一般廃油 (フロー図D、E)	⑧木くず (フロー図E)	⑨蛍光灯 (フロー図E)	⑩ガラスくず (フロー図E)	⑪がれき類 コンクリート破片 (フロー図E)	⑫乾電池 (フロー図E)	⑬廃油（廃液压油） (フロー図E)	⑭廃アルカリ (無機汚泥水) (フロー図C)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	
	(今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の中間処理、計画なし														

②計画	【目標】	(第5面)												
	産業廃棄物の種類	①粉末汚泥 (フロー図A、B)	②廃プラスチック類 (ゴム屑等) (フロー図A、D)	③廃プラスチック類 (ゴム屑) (フロー図A)	④廃プラスチック類 (合成樹脂) (フロー図B、D)	⑤廃プラスチック類 (合成樹脂) (フロー図B)	⑥廃プラスチック類 (合成樹脂) (フロー図B)	⑦一般廃油 (フロー図D、E)	⑧木くず (フロー図E)	⑨蛍光灯 (フロー図E)	⑩ガラスくず (フロー図E)	⑪がれき類 コンクリート破片 (フロー図E)	⑫乾電池 (フロー図E)	⑬廃油(廃液油泥) (フロー図E)
	全処理委託量	15.9885 t	1631.41704 t	109.8702 t	157.5783 t	8.2368 t	1.81665 t	115.83792 t	47.3715 t	0.2772 t	8.2764 t	－ t	0.1089 t	35.244 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	15.9885 t	1631.41704 t	109.8702 t	157.5783 t	8.2368 t	1.81665 t	115.83792 t	47.3715 t	0.2772 t	8.2764 t	0 t	0.1089 t	35.244 t
	再生利用業者への 処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	47.3715 t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
	認定熟回収業者 への処理委託量	－ t	1631.41704 t	109.8702 t	157.5783 t	8.2368 t	1.81665 t	115.83792 t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	35.244 t
	認定熟回収業者以外 の熟回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組) 継続して産業廃棄物処理、収集運搬の委託基準が遵守できる産業処理業者に産業処理を委託する。 また委託処理業者に対しては、年に1回、産業処理状況の現地確認を実施する。 定期的に排出物適法管理システム(電子マニフェスト)にて、産業廃棄物処理処分業許可証、収集運搬業許可証等を確認する。													
※事務処理欄														

フロー図A Vベルト製造工程

2024年5月報告用

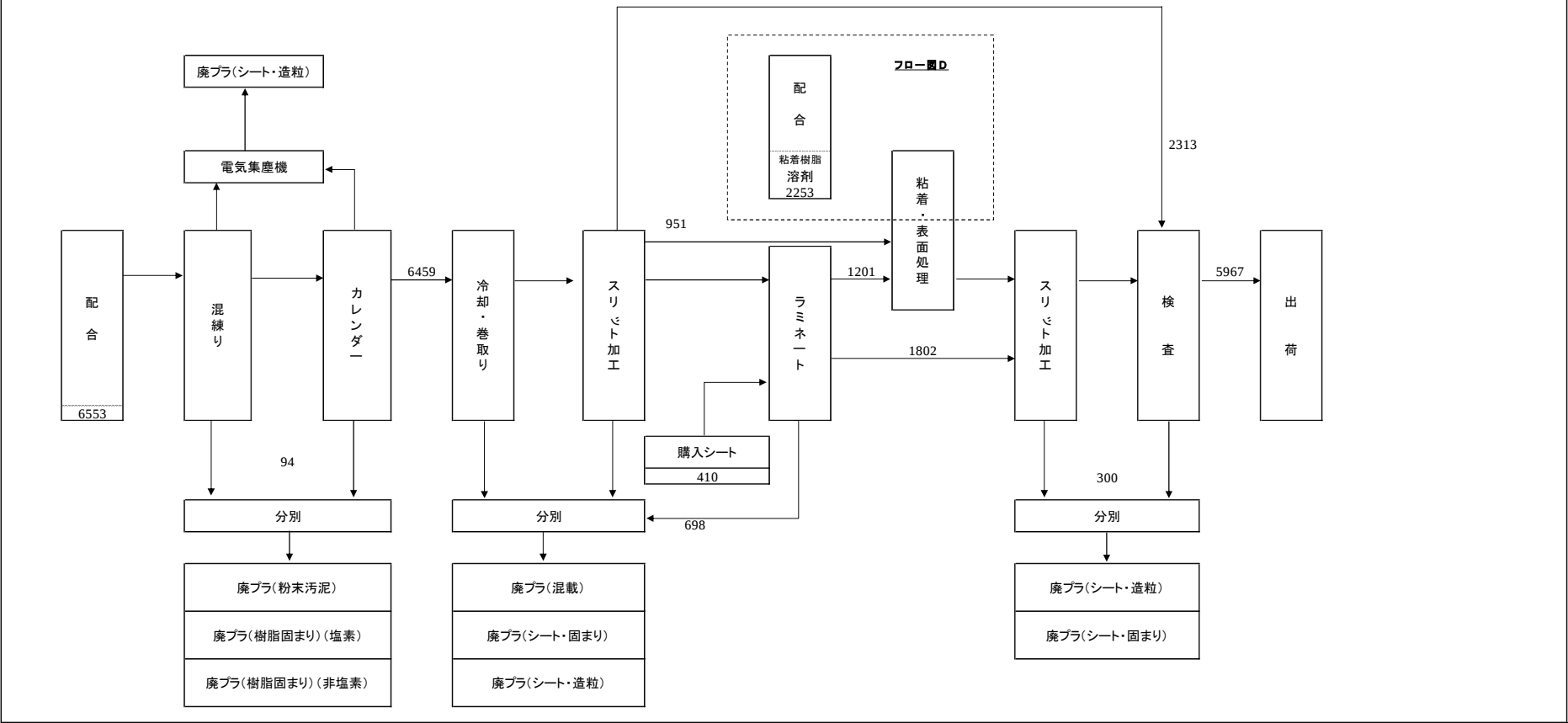
単位：トン



フロー図B フィルムシート製造工程

2024年5月報告用

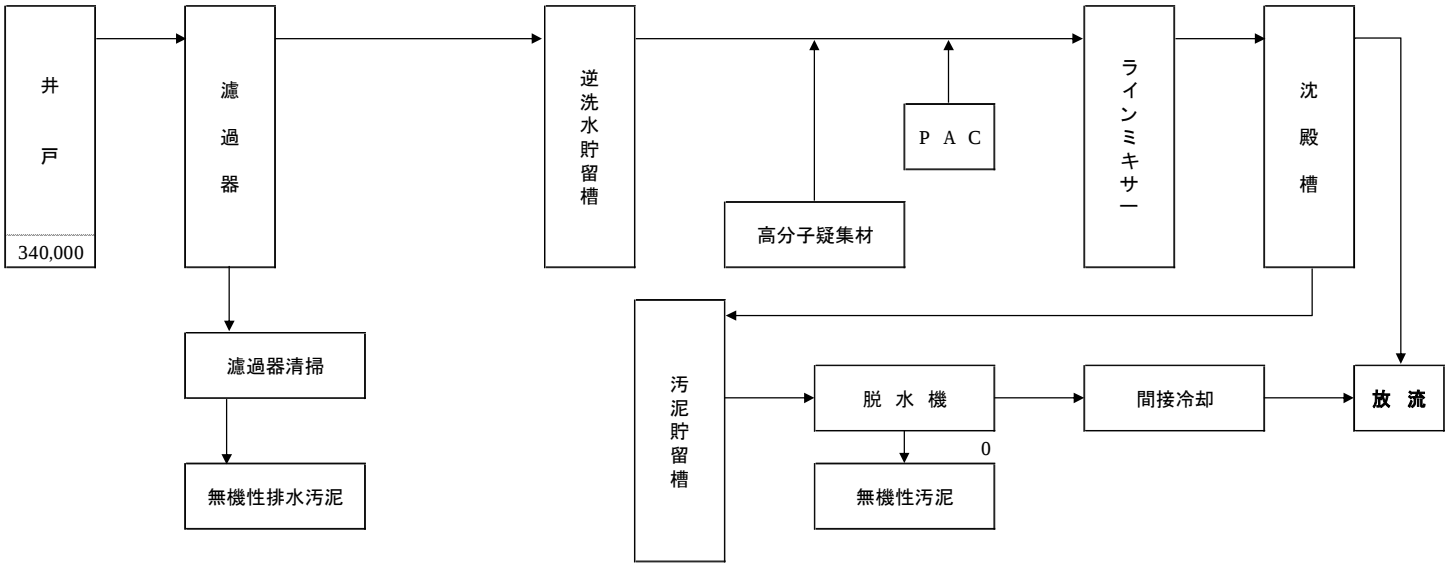
単位：トン



フロー図C 井水濾過器逆洗水処理フロー

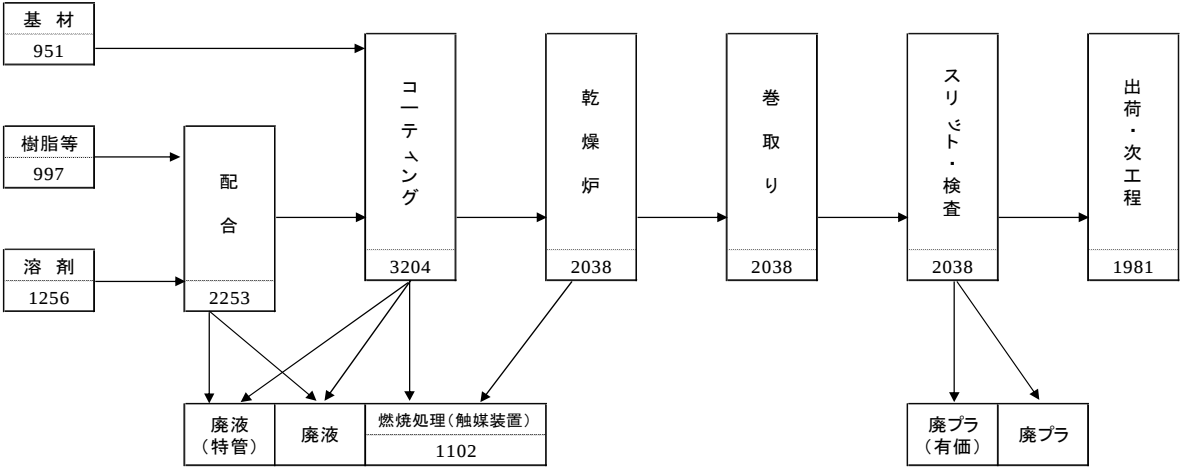
2024年5月報告用

単位：トン

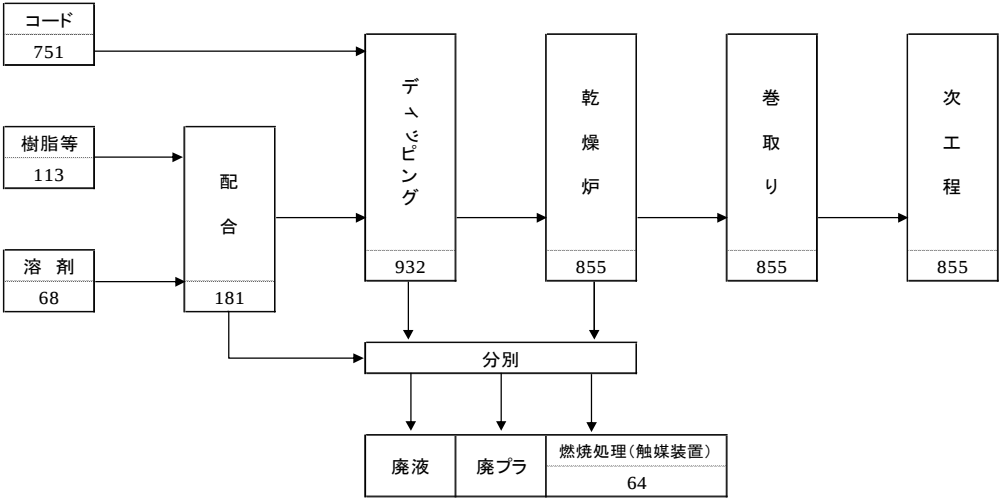


フロー図D 表面処理・粘着工程

単位：トン



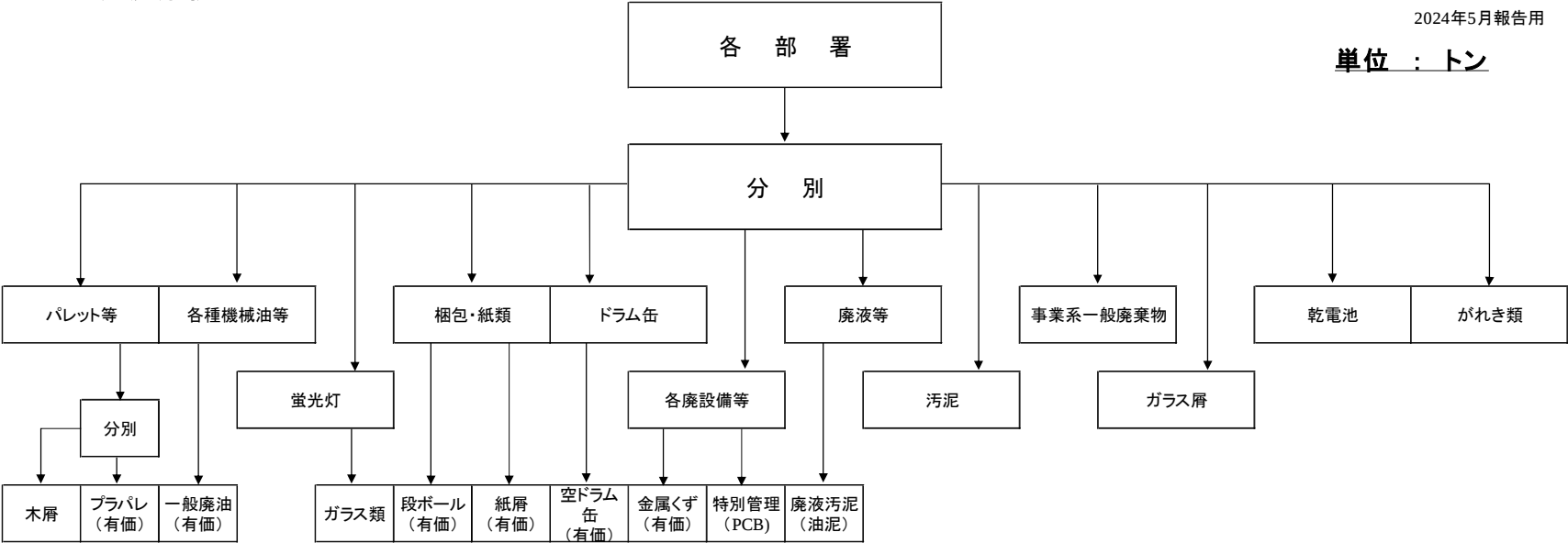
フロー図Dディッピング工程



フロー図E 共通廃棄物

2024年5月報告用

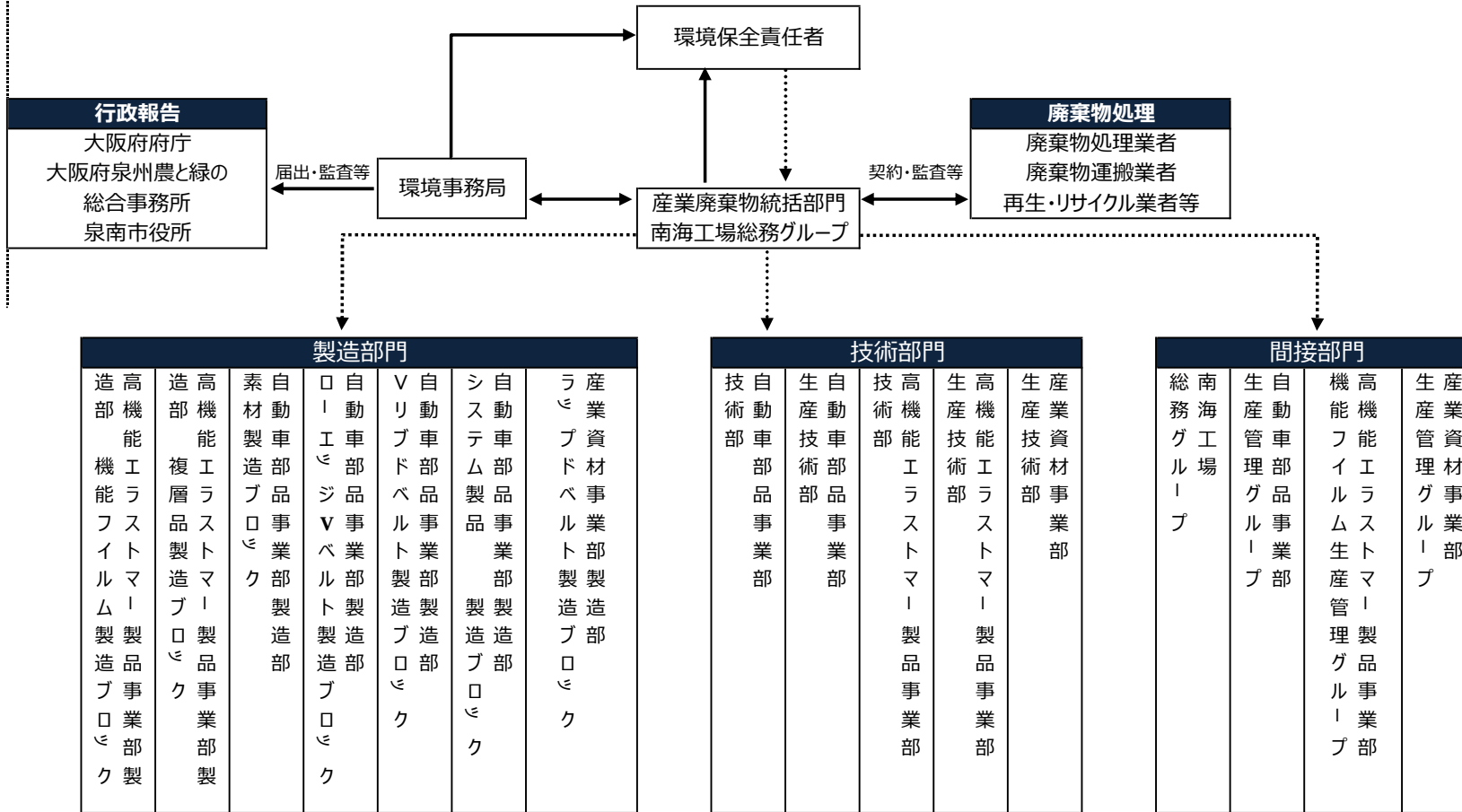
単位：トン



南海事業所 廃棄物管理組織図と役割

作成日：1999年9月23日

改正日：2024年4月1日



→ : 報 告

↔ : 相互連絡

.....▶ : 指 示